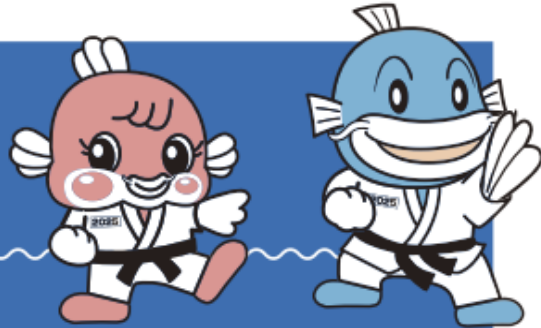


から て どう 空手道

つ き う あ け う と う ぎ じ ゅ つ
突き、打ち、当て、蹴り、受け等の技術で
た が わ ぜ き そ き ょ う ぎ く み て き ょ う ぎ か た き ょ う ぎ
お互いに技を競う競技で、組手競技と形競技があります。



日程・会場 ● 10月5日（日）～10月7日（火）
ウカルちゃんアリーナ（滋賀県立体育館）

プログラム詳細は
p. 3 ～ 参照！

一般観覧 (可) ← 事前予約不要／入場無料／入場整理券なし

インターネット **LIVE配信・見逃し配信** も無料！（主に決勝戦）

・フラッシュ撮影は禁止です。おもてなしエリア（休憩所）でもモニターによる観戦は可能です。

競技紹介

- 組手競技は、決められた部位に早く、正確に、力強く技を繰り出して、勝利を競います。
- 形競技は、多くの敵に囲まれた場面を想定した演武で、技の正確さや力強さ等で勝敗を決定します。

競技のルールや見どころは **p. 5 ～** 参照！



滋賀県選手団

no	競技	種別	種目	役職	氏 名	勤務先・学校名・所属等	学年等	現 住 所
1	空手道	全種目	組手・形	監督	山本 良太郎	社会福祉法人 幸寿会		草 津 市
2	空手道	成年男子	組手(団体・個人)	選手	蜜口 太一	新生化学工業株式会社		高 島 市
3	空手道	成年男子	組手(団体・個人)	選手	蜜口 光太	株式会社OSGダイヤモンドツール		高 島 市
4	空手道	成年男子	組手(団体・個人)	選手	武村 流空	滋賀県空手道連盟		栗 東 市
5	空手道	成年男子	形	選手	竹内 誠竜	トヨタモビリティ東京		東京都世田谷区
6	空手道	成年女子	組手(団体・個人)	選手	和田 愛理	中京学院大学	4年	岐阜県中津川市
7	空手道	成年女子	形	選手	草野 千裕	株式会社メディアビューティー		大 津 市
8	空手道	少年男子	組手(団体・個人)	選手	渡部 空夢	京都外大西高等学校	3年	草 津 市
9	空手道	少年男子	形	選手	山本 湊太	京都外大西高等学校	2年	栗 東 市
10	空手道	少年女子	組手(団体・個人)	選手	鳥屋尾 奏	京都精華学園高等学校	3年	大 津 市
11	空手道	少年女子	形	選手	伊崎 栞	済美高等学校	2年	近江八幡市

見どころ

- 空手道は、「組手競技」と「形競技」があります。
- 「組手競技」は、様々な技を駆使した攻撃のスピードと迫力、防御できる間合いを保ちつつ攻撃を仕掛けるタイミングを探る選手同士の駆け引きなどが見どころです。
- 「形競技」は、技の力強さやスピード、リズムそして強弱などに注目。同じ演武を二度行うことはできないため、得意とする演武をいつ行うかといった戦略も見どころです。

＜滋賀県選手団＞

少年男子の渡部 空夢選手は、2024年佐賀国スポの個人組手で優勝！今大会の注目選手のひとりです！

滋賀県広報課の注目ポイント

＜滋賀県選手団＞

今大会出場する蜜口 太一選手・鳥屋尾 奏選手は、2024年佐賀国スポでメダルまであと1歩の成績でした…（蜜口選手は成年男子組手（軽量級）で第5位、鳥屋尾選手は少年女子組手で第4位）。今大会ではメダル獲得を目指してがんばれ！

- 競技だけでなく、10月5日（日）12：30から会場の「ウカルちゃんアリーナ（滋賀県立体育館）」で、「仰木太鼓」による和太鼓の演奏があります！平安時代までさかのぼる歴史あるおおぎ「仰木太鼓」。その大迫力の演奏に注目です！



[32] 空 手 道 競 技

大 津 市

競 技 日 程

審 判 会 議	10月 4 日 (土)	16時00分	びわ湖大津プリンスホテル
監 督 会 議	10月 4 日 (土)	17時00分	びわ湖大津プリンスホテル
開 式	10月 5 日 (日)	9時00分	ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)

10月 5 日 (日)

会 場：ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)

内 容		競技時間	ファイナル	エントリー締切時間
計 量		10:00～12:00		
1 少年女子・少年男子形	1 ・ 2 回 戦	10:00～10:40		8:30
2 少年女子・少年男子形	3 回 戦	10:45～11:05		
3 成年女子組手	1 ・ 2 回 戦	11:10～11:50		10:30
4 公 開 演 技		12:00～12:20		
5 成年男子組手 (軽量級)	1 ・ 2 回 戦	12:40～13:20		12:00
6 成年男子組手 (中量級)	1 ・ 2 回 戦	13:25～14:05		12:45
7 成年男子組手 (重量級)	1 ・ 2 回 戦	14:10～14:50		13:30
8 成年女子組手	3 ・ 4 回 戦	14:55～15:10		
9 成年男子組手 (軽量級)	3 ・ 4 回 戦	15:15～15:30		
10 成年男子組手 (中量級)	3 ・ 4 回 戦	15:35～15:50		
11 成年男子組手 (重量級)	3 ・ 4 回 戦	16:00～16:15		
12 少年女子・少年男子形	準 決 勝 戦	16:20～16:30		
13 成年女子組手	準 決 勝 戦	16:35～16:45		
14 成年男子組手 (軽量級)	準 決 勝 戦			
15 成年男子組手 (中量級)	準 決 勝 戦			
16 成年男子組手 (重量級)	準 決 勝 戦			
17 少年女子・少年男子形	3 位 決 定 戦	16:50～17:00		
18 成年女子組手	3 位 決 定 戦	17:05～17:10		
19 成年男子組手 (軽量級)	3 位 決 定 戦			
20 成年男子組手 (中量級)	3 位 決 定 戦			
21 成年男子組手 (重量級)	3 位 決 定 戦			
22 少年女子形	決 勝 戦	17:20～17:30	Fコート	
23 少年男子形	決 勝 戦	17:35～17:45	Fコート	
24 成年女子組手	決 勝 戦	17:50～17:55	Fコート	
25 成年男子組手 (軽量級)	決 勝 戦	18:00～18:05	Fコート	
26 成年男子組手 (中量級)	決 勝 戦	18:10～18:15	Fコート	
27 成年男子組手 (重量級)	決 勝 戦	18:20～18:25	Fコート	
表 彰 式		18:30～18:50		

競 技 日 程

10月6日（月）

会 場：ウカルちゃんアリーナ（滋賀県立体育館）

内 容		競技時間	ファイナル	エントリー締切時間
1	少年女子組手	1 ・ 2 回 戦	9:00～9:32	8:20
2	少年男子組手	1 ・ 2 回 戦	9:37～10:09	9:00
3	成年女子・成年男子形	1 ・ 2 回 戦	10:14～10:54	9:40
4	少年女子組手	3 ・ 4 回 戦	10:59～11:11	
5	少年男子組手	3 ・ 4 回 戦	11:16～11:28	
6	成年女子・成年男子形	3 回 戦	11:33～11:53	
7	少年女子・少年男子組手	準 決 勝 戦	13:00～13:04	
8	成年女子・成年男子形	準 決 勝 戦	13:09～13:19	
9	少年女子・少年男子組手	3 位 決 定 戦	13:24～13:28	
10	成年女子・成年男子形	3 位 決 定 戦	13:33～13:37	
11	少年女子組手	決 勝 戦	13:47～13:51	Fコート
12	少年男子組手	決 勝 戦	13:56～14:00	Fコート
13	成年女子形	決 勝 戦	14:05～14:15	Fコート
14	成年男子形	決 勝 戦	14:20～14:30	Fコート
表 彰 式		14:35～14:50		
15	組手団体戦	1 回 戦	15:00～16:40	14:30

10月7日（火）

会 場：ウカルちゃんアリーナ（滋賀県立体育館）

内 容		競技時間	ファイナル	エントリー締切時間
1	組手団体戦	2 回 戦	9:00～10:40	8:20
2	組手団体戦	3 回 戦	10:45～11:35	10:40
3	組手団体戦	4 回 戦	11:40～12:07	11:37
4	組手団体戦	準 決 勝 戦	13:00～13:30	12:45
5	組手団体戦	3 位 決 定 戦	13:45～14:13	Fコート 13:43
6	組手団体戦	決 勝 戦	14:18～14:45	Fコート 14:16
総 合 表 彰 式		競技終了後 ウカルちゃんアリーナ（滋賀県立体育館）		

わたSHIGA輝く国スポ「第79回国民スポーツ大会 空手道競技会」の見方

◆組手競技とはルールに従って相対する選手が実際に技の攻防を行い、得点を競うものです。

I コー ト 8 m × 8 m (内側 1 m に警告エリア、外側各辺 2 m の安全域)

II 競技時間

成年男子及び女子：3 分

少年男子及び女子：2 分

III 審判構成 主審 1 名、副審 4 名、監査 1 名

IV 勝 敗 ① 8 ポイントの差が生じた場合

② 反則、失格、棄権があった場合

③ 競技時間終了時に、それまでに取得しているポイントの合計が多い方を勝者とする。
同点の場合「先取」がある方。双方に「先取」がない場合は下記の基準（適応順）に基づき勝敗を決定する。

a) 一本の数が多き選手

b) 技ありの数が多き選手

一本と技ありの数が同じか、または双方得点が無かった場合、どちらの競技者が戦術と技術に優れているかという副審 4 名と主審の個々の判断に基づき、判定により勝敗を決定する。

それでも勝敗がつかない場合は主審の判定となる。（判定は個人戦のトーナメントのみ、団体戦及びラウンドロビンの場合は引き分けとなる）

【得点】 一 本（3 ポイント）上段蹴り並びに投げられたまたは、倒れて足の裏以外が床に着いた相手への得点技

技有り（2 ポイント）中段蹴り

有 効（1 ポイント）中段または上段への突きまたは打ち

V 罰 則 組手競技は、安全第一の目的から相手の身体に触れる前に「とめる」ことを大前提としている。しかし、双方の動きが速いため、突きや蹴りが誤って当たる場合がある。また、その他の禁止行為を行うことで、ウォーニングまたはペナルティが課せられる。

●ウォーニング・ペナルティの種類

- 1 得点部位への過度の接触技、喉への接触技
- 2 腕、脚部、股間部、関節、または足の甲への攻撃
- 3 開手による顔面への攻撃
- 4 「分かれて」の後、「続けて」の前に技を出すこと
- 5 危険な、または禁止されている投げ技
- 6 負傷を装うこと、または誇張すること
- 7 原因が相手によるものでない場合
- 8 自ら負傷を受けやすいような行動を取ることで、または自己防衛できなかった場合。（無防備）
- 9 相手に得点を取られないように格闘を避けること
- 10 不活動（戦おうとしない）
- 11 投げまたはその他の技をかけようとせず、組み合い、レスリング、押し合い、つかみ合い、または胸を付き合わせたりすること
- 12 相手の蹴り足を掴み倒す場合を除き、両手で相手を掴むこと
- 13 相手の腕または空手着を片手で掴み、即座に得点技または倒そうとしなかった場合。または、投げられないよう相手を掴み続けること
- 14 相手の安全を損なう技、または危険でコントロールされていない技
- 15 頭部、膝、肘で攻撃をしようとした場合。
- 16 主審の命令に従わないこと。相手選手に話しかけること、または相手を刺激すること。審判団に対する無作法な態度、または道徳に反する行為。（失格になる場合もある）

ウォーニング …… 注意・反則注意

ペナルティ …… 反則・失格

◆形競技とは形は相手の動きを想定して、攻防する技能を一つの流れとして構成されたものであり、形競技は演武された形を審判団が得点により評価し優劣を競うものです。

I 評価基準（下表参照）

型演武	分解演武
1. 立ち方	1. 立ち方
2. 技	2. 技
3. 流れるような動き	3. 流れるような動き
4. タイミング及び同時性	4. タイミングと間合い
5. 正確な呼吸法	5. コントロール
6. 極め	6. 極め
7. 適合性：流派の基本の一貫性	7. 適合性：形演武での実際の動きを使用しているか
8. 力強さ	8. 力強さ
9. スピード	9. スピード
10. バランス	10. バランス

II 審判団

審判団は5名または7名で構成される。

III 採点方法

- ① 5.0 から 10.0 まで 0.1 刻みで、5.0 点が最低点、10.0 点が完璧な点として採点される。違反は 0.0 点で示される。
- ② 5 名または 7 名の得点のうち、最高得点と最低得点を除外した合計が選手の得点となる。

IV 違反及び減点

1. 違反

下記に該当した場合は違反となり、得点は 0.0 となる。

- ① 形名を呼称しない。間違った形を呼称する、又は公式記録席で事前に報告した形と異なる形を演武した場合。
- ② 形演武開始の礼、及び終了の礼をしなかった場合。
- ③ 形演武を開始する際、審判員の方に向いていなかった場合。
- ④ 明らかに技が中断または停止があった場合。
- ⑤ 動作の省略や追加、又は本来の形から大幅に異なっていた場合。
- ⑥ 明らかにバランスを崩した、又は転倒や足を踏みかえて元に戻した場合。
- ⑦ 演武中に帯が外れた場合。
- ⑧ 団体形においては、形と分解演武の合計時間が 5 分を超過した場合。
- ⑨ 団体形においては、分解で頸部への上段、蟹ばさみを行った場合。
- ⑩ 審判の指示に従わなかった場合、又はその他の不正行為をした場合。

2. 減点

下記に該当したことが明らかである場合、判定基準に従い評価の際考慮に入れなければならない。

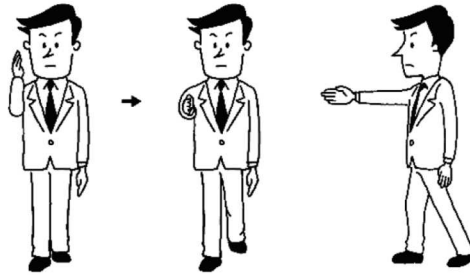
- ① 少しバランスを崩した場合。
- ② 不正確な動き、または不十分な受け、的外れな突き。
- ③ 非同時性の動き（体の移動が終わる前に技を出したり、または団体戦で動きが一致していないなど）
- ④ 足をならしたり、胸や腕または空手着を叩いたり、無闇に息を吐き出すなど、聞こえるような合図をすることは（他のチームメンバーからの合図も含む）、形演武において重要な減点要素であり、一時的にバランスを崩し減点が科せられる場合と同じレベルの減点要素となる。
- ⑤ 演武中に帯が腰から外れるほど緩んだ場合。
- ⑥ 時間を浪費した場合。進行を長引かせたり、過度の礼、又は演武を開始するまでに長時間を費やすなど。
- ⑦ 分解演武中、技のコントロール不足により負傷を来した場合。
- ⑧ 分解演武において、2 秒を超えて無意識状態を装った場合。

■組手競技の主審の表示と警告

■勝負始め



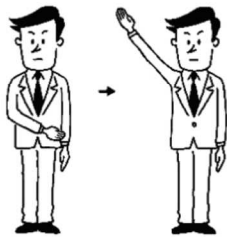
■やめ



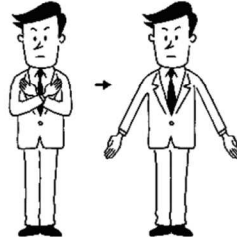
■先取



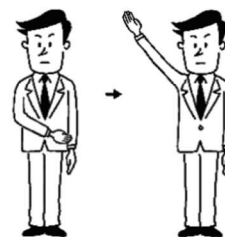
■勝ち



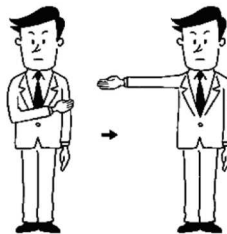
■引き分け



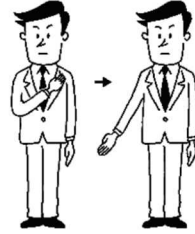
■一本



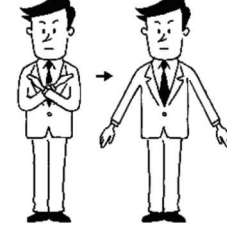
■技あり



■有効



■判定の取消し



■注意 1 回目

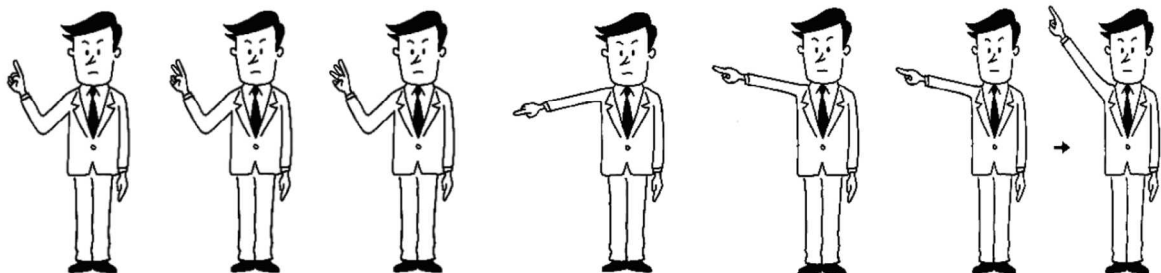
■注意 2 回目

■注意 3 回目

■反則注意

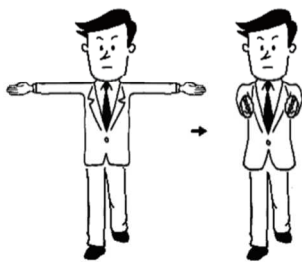
■反則

■失格

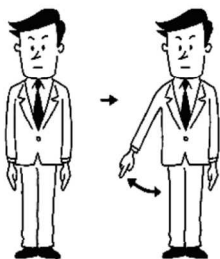


■組手競技の主審の表示と警告

■続けて始め



■場外



■過度の接触



■無防備



■不活動



■負傷の誇張



■負傷の装い



■逃避行動



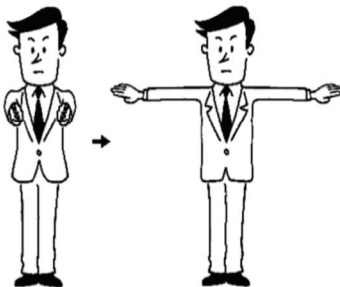
■押す



■つかむ



■わかれて



■続けて

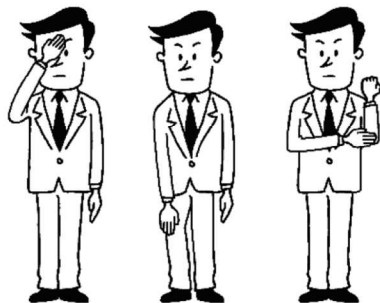


■ドクター



■組手競技の主審の表示と警告

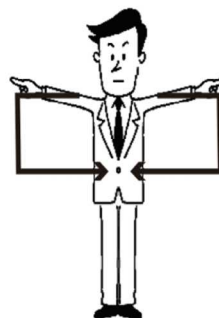
■頭、膝又は肘での攻撃を試みた場合



■不必要な発声など



■ビデオレビュー



★副審の旗の合図

★着座姿勢



★有効



★技あり



★一本

